

令和元年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会

平和の日メッセージ

昭和19年（1944年）11月24日、武蔵野が初めて空襲を受けてから、75年が経ちました。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は9回を数え、工場関係者200名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定しました。

現在の平和な武蔵野市を子ども達に引き継ぐためには、この地の歴史を知るとともに、私たち一人ひとりが平和について考えなければなりません。戦争遺跡を訪ね、市の歴史を知り、平和について考えていただく機会としていただくため、市内10か所に平和案内説明板を設置しています。また、都立武蔵野中央公園には、市が資料提供した歴史解説板が設置されました。

戦争を体験された方から直接体験談を聞く機会も大変貴重になっています。戦後70年余を経た今、私たちには、この「体験の記憶」を語り継いでいく使命があります。貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、平和の尊さ、戦争の悲惨さを伝えていく活動を市民の皆様とともに取り組んでまいります。

そして、原爆投下による広島、長崎の悲劇が二度と世界で起こることのないよう、武蔵野市は、国内外の自治体と連携しながら、戦争も核もない世界の実現に向けて、お互いが尊重し合う平和な社会を育む取り組みを推進してまいります。

2019年11月24日

武蔵野市長 松下 玲子

ま え が き

武蔵野市議会では、昭和 57 年 3 月 29 日に非核都市宣言を行いました。

平成 19 年には、その宣言から 25 年を記念して、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言平和事業実行委員会が設置され、それ以降、戦争パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成 23 年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

令和元年度は、青井未帆氏による『憲法を学ぶための基礎知識』をテーマとした講演をはじめとして、夏季平和事業では映画上映会や子ども向けのおしばい『ぞうれっしゃがやってきた』を上演し、平和の日イベントでは、戦時中・戦後の資料の紹介及びすいとんの提供や、早乙女勝元氏による講演『平和を探して生きる—ある作家の体験から—』を行うなど、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の実相と平和の大切さを継承していく活動を行いました。今後も市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるため、戦争体験の伝承を継続し、平和への意識を高め、ていく事業を引き続き行っていきます。

本書は、令和元年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

目 次

I 令和元年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

- 1 憲法月間記念行事の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・ 2
- 3 平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・ 3
- 4 研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5 実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II 令和元年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に

- 参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

令和元年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体・大学生	大 上 茂 雄	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	酒 徳 千 尋	武蔵野市立小中学校 PTA 連絡協議会
	小 林 宏	武蔵野市老人クラブ連合会
	糸 久 綾 香	大学生
	大 関 舞 美	大学生
	加 瀬 みのり	大学生
	清 水 誉 央	大学生
	中 田 くるみ	大学生
	武 藤 知 里	大学生
平和関連団体	牛 田 守 彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中 里 崇 亮	世界連邦運動協会武蔵野支部
	柴 田 フミノ	武蔵野けやき会（被爆者の会）
	田 村 恭 子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	北 山 征 一	市内在住
	小 餅 友 子	市内在住
	島 津 好 江	市内在住
	寺 尾 孝 雄	市内在住
	中 島 敏	市内在住

I 令和元年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

1 憲法月間記念行事の開催

(1) 作品募集

内容：書道・絵手紙

応募状況：書道 161点 うち優秀賞2点、入選16点

絵手紙 23点 うち優秀賞2点、入選3点、実行委員会賞1点

表彰：5月19日（日）の記念講演会において、優秀賞4名（うち1名欠席）を表彰

展示：応募全作品を5月7日（火）～15日（水）まで市役所ロビーで展示

入賞作品については講演会当日（5月19日）にスイングホールロビーで展示



(書道・絵手紙 優秀賞作品 4点)

(2) 講演会の開催

内容：『憲法を学ぶための基礎知識』

青井 未帆 氏

日時：5月19日（日） 午後1時30分～3時30分

場所：武蔵野スイングホール

参加者：109名



(3) 横断幕の掲出

内容：「憲法月間 憲法を学びみんなで作ろう平和な暮らし」

掲示期間：5月7日（火）～31日（金）

場所：市役所

2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催（協力：武蔵野けやき会、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

内容：広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

① 8月1日（木）～8日（木） 武蔵野プレイス1階 ギャラリー

② 8月9日（金）～16日（金） 市役所1階 ロビー

(2) 一般向け平和イベント

8月1日（木） 午後1時30分～4時 武蔵野プレイス4階 フォーラム

映画「あの日のオルガン」上映、被爆体験談（協力：木岡紀久代氏）

参加者 66名

(3) 子ども向け平和イベント

8月2日（金） 午後2時～3時 武蔵野プレイス4階 フォーラム

おしばい『ぞうれっしゃがやってきた』（小出隆司著／岩崎書店）

協力：公益財団法人武蔵野文化事業団、青☆組

上演台本・演出：吉田小夏

参加者 100名



(4) 市民から寄せられた戦争関連資料展示

8月1日（木）～30日（金） 市役所1階 正面玄関ショーウィンドー

(5) 図書館での原爆や中島飛行機などの戦争、平和に関する図書の設置

8月1日（木）～8月31日（土） 吉祥寺図書館

3 平和の日イベント 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催

内容：武蔵野の空襲と中島飛行機（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

- ①11月9日（土） 吉祥寺駅 南北自由通路はなこみち
- ②11月10日（月）～17日（日） 武蔵野プレイス1階 ギャラリー
- ③11月18日（月）～22日（金） 市役所1階 ロビー



(2) 横断幕の掲出

「平和への願いを込めて 11月24日は武蔵野市平和の日です。」の掲示

- 11月1日（金）～29日（金） 市内3駅前
- 11月11日（月）～29日（金） 市役所

(3) 市民から寄せられた戦争関連資料展示

11月1日（金）～29日（金） 市役所1階 正面玄関ショーウィンドー

(4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

展示内容 中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲

展示場所 西部コミセン、西久保コミセン、御殿山コミセン、吉祥寺東コミセン、吉祥寺南町コミセン

(5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の設置

- ①11月12日（火）～25日（月） 武蔵野ふるさと歴史館
- ②11月11日（月）～25日（月） 中央図書館
- ③11月11日（月）～17日（日） 武蔵野プレイス
- ④11月16日（土）～30日（土） 吉祥寺図書館

(6) 平和の日イベント 講演会

日時 11月24日(日) 午後2時～3時45分

場所 武蔵野スイングホール

内容 上映：平和啓発DVD「武蔵野の戦争体験を語り継ぐ～平和を願って～」

講演：平和を探して生きる—ある作家の体験から—（早乙女勝元氏）

参加者 151名



(7) 戦時中の食体験

日時 12月8日(日) 午前11時～午後1時

場所 延命寺(武蔵野市八幡町1-1-2)

内容 戦時中・戦後の体験談や資料の紹介、すいとんの提供

共催 みかづき子ども食堂

協力 延命寺

参加者 96名



4 研修会の開催

実施日 令和2年2月6日(木)

視察先 五日市憲法草案ゆかりの地

(五日市郷土館、深沢家屋敷跡、五日市憲法草案の碑)

案内・解説 新井勝紘氏

参加者 実行委員8名、随員職員2名

5 実行委員会の開催状況

	日 時	主 な 内 容
第1回	平成31年4月22日(月)	実行委員会の運営等について
第2回	令和元年5月17日(金)	憲法月間記念行事、夏季平和事業について
第3回	6月20日(木)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第4回	7月18日(木)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第5回	9月2日(月)	平和の日イベントについて
第6回	10月4日(金)	平和の日イベント、研修会、憲法月間記念行事について
第7回	12月2日(月)	研修会、憲法月間記念行事について
第8回	令和2年1月16日(木)	研修会、憲法月間記念行事について
第9回	3月5日(木)	憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベントについて

II 令和元年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

武蔵野市コミュニティ研究連絡会 大上 茂雄

私はコミュニティ連絡協議会からの充て職として参加しました。委員として決まったのも実行委員会がスタートした後だったので、みなさんより若干遅れての参加です。平和に関する何か活動をしていたか？いえ、何もしてません。ただ漠然と平和は大事だと潜在的に感じていただけです。この委員を引き受けたことで、今まで見えなかったものがいろいろ見えてきました。武蔵野市の平和事業、平和に関する活動をしている団体、武蔵野市に残る戦争の跡、戦争体験者、ふるさと歴史館の活動、……実行委員会で地域での平和活動を活発にする立場になったはずが、自分が学ぶことに終始してしまったような気がします。個人的にはいろいろ学ぶことができてすごく充実した活動になりました。これからは学びながら盛り上げる方になっていかないと…一年間ありがとうございました。

武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会 酒徳 千尋

これまで武蔵野市の戦争に関する歴史や平和に対する取り組みはほとんど知りませんでしたが、この事業に関わることによって、戦争を体験された方々の生の声を聞くことができ、当たり前だと思っている平和が実は当たり前ではないかもしれないということに気付かされました。

特に、11月の平和の日講演会で早乙女勝元氏が、東京大空襲の業火から命からがら逃げた様子や平和憲法を手にした喜びを、あたかも昨日のことを話すかのように語られているのには、大変な感銘を受けました。

来年度は実行委員会から離れることとなりますが、この事業によって戦争体験の継承が世代を超えて続いていくことを願っています。

大学生 糸久 綾香

通学で通っている武蔵野市が戦争で多くの戦災を受けたということを知り、興味を持ったのがきっかけで平和事業に参加させていただきました。活動の中で特に印象に残っているのは、戦時中の食体験イベントです。このイベントは、戦時中の様子や戦争の悲惨さを知る機会となりました。また、様々な立場、幅広い年代層の委員の方々、市民の方々と交流できたことは非常に貴重な経験となりました。悲惨な戦争を繰り返さないためにも、この平和事業で得た経験をもとに、今後も平和の大切さを伝える活動に携わっていきたくです。

大学生 中田 くるみ

私は戦争があった事実は知っていましたが、当時の状況がどうであったのかを知りませんでした。武蔵野市の平和事業委員会には実際に戦争を体験した方がいらっしゃり、お話を伺う機会がありました。戦争中は困難を極め苦しい状況で、あらためて今の中は平和だと思いました。私は平和は初めから存在しているのではなく、築いていくものだと思います。今、私たちが平和に暮らせるのは平和を築くために努力した人がいたからで、平和という状態を続けていくためには、戦争の歴史を若い世代に伝えていくことが大切だと思います。そうすることで、今の生活のありがたみを再認識し、同じことを引き起こす確率が下がると思うからです。武蔵野市の平和事業委員会は戦争の歴史を伝えていくのに適した団体であり、その一員として活動出来てよかったです。

公募委員 北山 征一

昨年度の実行委員を終えて、今回も色々なことを学んだと思います。5人の公募委員として、なんとか今回も抽選に当たって欲しい、でも他の人に当たって、多くの人が平和事業実行委員の仕事に携わって、平和のことを考えてもらいたいと思いますが、もう少し実行委員としてやりたいと思っていました。字数が限りあるので、この一年の私の主な感想を書きます、今年もほぼ毎月の定例委員会での話し合いでの大切さと、研修バス旅行で「五日市憲法」を発掘したエピソードを知ったこと、発見と継続の歩みをしっかりと建物の中に入ってながら聞いたことが、大変勉強になったと思います。また実行委員の先輩たちの貴重な体験話を聞くことが、毎回楽しみで伝承の大切さをいつも思っています。これからも実行委員として励んでいきたいと思っています。

公募委員 小餅 友子

～諦めず、粘り強く、事実を伝えていく～

今年は、五日市憲法草案を起草した千葉卓三郎ゆかりの地、あきる野市へ行くことができ、新たな思いを持ちました。それにもまして今年度嬉しかったのは、武蔵野市にとってのこれからの指針となる第六期長期計画の第8章「施策の体系」の3に「平和・文化・市民生活」と、『平和』の文字が加わったことです。その(1)には「平和施策の推進」と書かれて、平和に関する学習や交流を推進していくと締めくくられています。伝え続けましょう！！

公募委員 島津 好江

『打ちてし止まん』『ほしがりません勝つまでは』『一億一心火の弾だ』

私が小学校入学時に校庭に全員集まり朝礼で唱えました。

終戦から 75 年も経ちました今では、戦後生まれの人が多くて太平洋戦争（当時大東亜戦争）も知らない人が多く、この武蔵野市も激戦地であったことも知りません。私たちは平和がどんなに大切か、くり返してはいけない。考え話し合っって経験のない人たちも理解し、平和を守り心豊かに過ごしたいものです。

先日、小学生より『『平和』って何ですか』と問われました。平和の反対を考えてみようと答え一緒に反対のことを話し合いました。平和の今を大切に、永遠に。

公募委員 寺尾 孝雄

委員としての事業体験から反省を含めて振り返りました。

1. パネル展示等で説明を要する場合は、事前に内容説明を受けたいと思いました。吉祥寺駅通路でのパネル展示は、「中島飛行機」の跡地を知らない方がいました。「平和の日」と併せ「平和の広場」を周知していきたいと思います。更にこのような不特定多数の方々が立ち寄る催しには、委員もなるべく学生さんなど若い世代にも対応してもらうように計画するべきと思います。
2. 憲法月間や平和の日イベントに招く講師の選択については、委員で手分けしてその著作を読む又は映画や劇を観て、その印象を聞き決定の方がよいかと思います。また、夏季の催しには、市立小中校のミニコンサートを付けてください。子供さんとともに子育て世代が参加することを期待したいと思います。
3. 「研修会」は、学生さんとの顔合わせを含め夏ころまでに計画すべきと思います。催しには参加者からアンケートを頂いていますが、紙の配布で終ではなく、形（データ）とし残したいと思います。

武蔵野市非核都市宣言

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和57年3月29日

武蔵野市議会

世界連邦に関する宣言

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。

人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うとともに、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和35年6月28日

武蔵野市議会



令和元年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和2年7月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)